

宮城開催の概要

1 試合の概要

世界最大のスポーツイベント「2002FIFAワールドカップ™」は、日本・韓国の20開催地で熱い戦いが繰り広げられた。この宮城でも、ファーストラウンド（2試合）ラウンド16（1試合）が行われ、3試合に約14万人が訪れるほどの盛り上がりを見せた。特に、18日は日本代表が一次リーグを1位通過し、この宮城スタジアムで、ラウンド8進出を賭けトルコと対戦したことから、雨にもかかわらず、県内外から大勢のサポーターたちが詰めかけた。

[試合結果]

区分	対戦カード及び試合結果	対戦日時	天候	観客数
ファーストラウンド (1次リーグ)	メキシコ vs エクアドル 2 - 1	6月9日 15:30~	晴れ	45,610
	スウェーデン vs アルゼンチン 1 - 1	6月12日 15:30~	曇り	45,777
ラウンド16 (決勝トーナメント1回戦)	日本 vs トルコ 0 - 1	6月18日 15:30~	雨	45,666

2 施設

- スタジアム：平成12年3月31日完成
 場所：利府町菅谷字館40-1
 （JR利府駅から宮城交通バスで約10分）
 （三陸自動車道利府中ICより約10分）
 平成13年11月6日からワールドカップ対応施設への整備開始
 （1）ピッチ 107m×71.4m 110m×73m
 （2）プレス席 実況放送席 / 80席 記者席 / 200机(400席)
 （3）仮設電源設備 2箇所増設
 （4）仮設通信回線 1500回線、通信回線の二重化
- 公式練習場：2会場4ピッチ
- ・目隠しフェンス設置
 - ・セキュリティフェンス設置 他



宮城スタジアム

3 ボランティア

宮城開催においては、情報提供やアクセス誘導等お客様のホスピタリティのための開催地ボランティアと大会運営のためのJAWOCボランティアの方々に御協力をいただき、その数は1,600人を超え、大会の成功に大きく貢献していただいた。



[ボランティア配置状況]

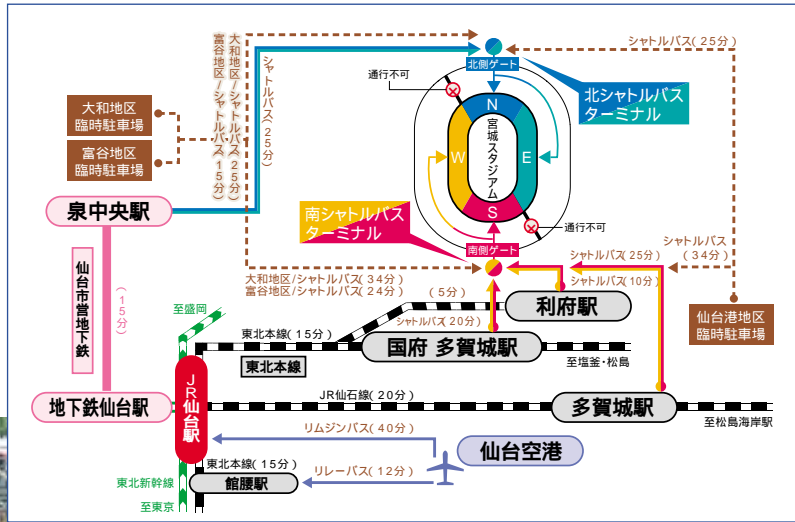
業務	活動場所	ボランティア数	業務	活動場所	ボランティア数	
インフォメーション	仙台空港	346人	アクセス	仙台空港	132人	
	JR仙台駅			JR仙台駅		
	JR利府駅			地下鉄泉中央駅		
	JR国府多賀城駅			宮城スタジアム（北側・南側）		
	JR多賀城駅		JR仙台駅	救護	JR利府駅	16人
	地下鉄泉中央駅		地下鉄泉中央駅			
	地下鉄富沢駅		イベント会場（勾当台公園市民広場）			
	イベント会場（勾当台公園市民広場）		商店街	広報・企画	宮城スタジアム	33人
	宮城スタジアム（北側・南側）		大会運営（JAWOC）	宮城スタジアム	1,132人	
	インフォメーション本部		仙台空港	JR仙台駅		



4 輸送・警備

宮城スタジアム周辺4駅と臨時駐車場3箇所からシャトルバスによる観客輸送を行うとともに、観客及び地域住民の安全確保のため自主警備を実施した。

結果、計画に基づく輸送を実現するとともに、関係機関の協力のもと、大きな事故・事件もなく無事に終了した。



[観客輸送状況]

区 分	6 / 9 (日) メキシコvsエクアドル 入場者 - 45,610人		6 / 12 (水) スウェーデンvsアルゼンチン 入場者 - 45,777人		6 / 18 (火) 日本vsトルコ 入場者 - 45,666人	
	輸送人数(人)	台 数	輸送人数(人)	台 数	輸送人数(人)	台 数
駅シャトルバス	23,034	609	28,926	678	29,746	678
地下鉄泉中央駅	10,907	346	13,655	357	13,545	327
J R 利府駅	8,451	162	11,069	210	11,288	228
J R 国府多賀城駅	2,444	66	3,052	79	3,924	95
J R 多賀城駅	1,232	35	1,150	32	989	28
臨時駐車場シャトルバス	5,389	161	5,988	165	5,173	153
仙台港地区(駐車場)	2,334	61	2,530	67	2,590	68
		駐車805台		駐車885台		駐車951台
富谷地区(駐車場)	1,651	58	2,153	59	1,787	53
		駐車548台		駐車624台		駐車696台
大和地区(駐車場)	1,404	42	1,305	32	796	32
		駐車424台		駐車473台		駐車266台
団体バス	3,140	125	1,508	40	1,150	29
タクシー	450	130	450	150	737	200
徒歩・その他	13,597		8,905		8,860	
合 計	45,610		45,777		45,666	

注1) 「徒歩・その他」の人数は、「自転車・バイク」「徒歩」「JAWOC関係者」「その他手段」の人数。

注2) 「台数」はバスの延べ台数。

5 医療・防災対策

[医療対策]

救護所

一般観客の移動ルートにおける主要箇所及びイベント会場等、計10箇所に救護所を設置し、観客及び関係者の便宜を図った。

設置箇所	スタッフ	開設日
スタジアム南駐車場	保健婦 看護師 通 訊 事務員 各数名	6/9 12 18 6/8～18 6/4,9,12,14,18
スタジアム北駐車場		
JR利府駅		
JR国府多賀城駅		
JR多賀城駅		
地下鉄泉中央駅		
仙台空港		
JR仙台駅		
勾当台公園（サッカーパーク）		
仙台市体育館（パブリック・ビューイング）		

受付患者数	40
男	19
女	21
日本人	36
外国人	4
（国籍）	
メキシコ	2
アメリカ	1
不明	1
処置	
手当のみ	30
ベット休息	7
救急搬送	3

症状別	
擦傷（うち靴擦れ6）	11
頭痛、吐気、めまい	10
切傷	6
打撲	4
生理・腹痛	4
その他	5
観客	30
ボランティア	7
売店員	2
警備員	1

集団災害対策

スタジアム等における集団災害発生に備え、医療機関をはじめ、消防、警察、自衛隊等幅広い機関で構成する「集団災害・救急医療対策プロジェクト」において対応マニュアルづくりを行い、机上訓練、スタジアムでの実地訓練の結果等も踏まえ、情報連絡体制、人員、器材、傷病者搬送方法、搬送先等の体制を整備した。幸い、危惧された集団災害は生じなかったが、今後、同様の集団災害対応体制づくりの足がかりになることが期待される。

箇所	スタッフ
スタジアム及び周辺	統括責任医師1 通信担当医師班3 集団災害医療班A （医師2、看護師3、事務2） 集団災害医療班B （医師3、看護師2） 感染症対策班 （医師1、事務4）
仙台市消防局	医師1



[消防防災対策]

スタジアムを所管する塩釜地区消防事務組合消防本部、イタリア・チームのキャンプ地となった仙台市消防局等、関係消防本部が、会期中を中心に警戒体制を敷いたほか、テロ等に備え、県内全消防本部で構成する広域応援部隊が編成され、試合当日の警戒に当たった



6 宿泊

(社)宮城県観光連盟、(財)仙台観光コンベンション協会等の協力を得て、2002FIFAワールドカップ大会期間中の宿泊情報の提供を行った。

実績：空室情報サイト（県観光連盟ホームページ）開設期間 4月～6月
アクセス件数 21,095件

また、緊急避難施設を設置し、野宿者に提供した。

[緊急避難施設の運営結果]

1 設置場所

利府町総合体育館
宮城スタジアム南シャトルバス乗り場プレハブ
対戦国サポーターを分離できるよう2箇所設置

2 施設開設期間・時間

試合前日20:00～翌朝9:00 及び 試合当日20:00～翌朝9:00
 ・6/8 20:00～ 6/9 9:00 ・6/9 20:00～ 6/10 9:00
 ・6/11 20:00～ 6/12 9:00 ・6/12 20:00～ 6/13 9:00
 ・6/17 20:00～ 6/18 9:00 ・6/18 20:00～ 6/19 9:00

3 運営体制

県ワールドカップサッカー推進局職員2名、利府町役場職員3名
警備員20名（内バス運転手1名） 通訳2名

4 施設利用状況

期間中の施設利用者 合計12名

施設利用日	利用施設	施設利用者
6月9日(日)	南シャトルバス乗り場プレハブ	ドイツ人 3名
6月11日(火)	利府町総合体育館	アルゼンチン人 5名
6月17日(月)	利府町総合体育館	日本人 4名

